

寮生確保へ門戸広げる

—140年余りの歴史を持つ旧唐津藩ゆかりの学生寮「久敬社塾」（神奈川県川崎市）は、新年度入寮生から女子学生にも門戸を開いた。運営する公益財団法人久敬社の理事長として決断した。

私も塾生OBだが、1年前、「寮生が年々減つてこのままでは寮がなくなるか



塾監の島田英治さん（左端）と談笑する塾生の古賀栄一さん（左から3人目）ら。1997年ごろ（久敬社塾ホームページより）

ニュース この人

女子受け入れの学生寮を運営する「久敬社」理事長 古賀 栄一さん (71)

もしれない」と聞き、驚いた。伝統ある学生寮が途切れるのはしのびない。寮生時代の塾監・島田英治さん（故人）がしたように思えた。「ふがいない」って。知らんぷりはできなかった。

運営に関わったことはなかったが、恩返しのため、なり手がいない理事長に手を挙げた。

18年前、自分の長女の時もそうだったが、女子寮の要望は寄せられている。女子寮も検討されたが、慎重論が根強かった。学生確保のために一歩踏み出すには説得材料が必要と考えた。昨年7月に上京し、先例で寮生が増えた熊本県出身者の学生寮「有斐学舎」を訪ねた。ここも郊外にある。舎監から「考えたら反対の理由はヤマほど出てくる。踏み出すかどうか。男子だけではじり貧になる」と助言を受け、踏み切った。理事会、評議

員会に提案し、承認された。

—3階建ての3階フロア12部屋を女子専用とし、風呂場などを改修、オートロック化や防犯カメラも設置した。既に女子3人、男子2人の5人が内定している。手応えは。

唐津、伊万里を中心に各高校を回ってPRした。最初の反応は、市役所を通じてチラシを入れた市内の回覧板だった。生徒の親が目にしたことが大きい。その後、初めての女子受け入れが新聞やテレビで報道され、新たに8人（男女各4人、1月末現在）が申請、問い合わせも増えている。10人はいきたいね。

—38部屋あるが、現在の寮生は8人。郊外の学生寮の気がない要因をどう捉えているか。

私が寮生時代は50人ぐらいいたんだがね。学生寮の存在理由が薄れてきている

のは間違い。少子化、それと地元志向で関東の大学を目指す生徒が減っている。都心の山手線内の学生寮は寮費が高くて満杯だが、郊外は大学から遠く、どうしても通学に時間がかかる。このため就職に向けて在学中に専門学校にも通う「ダブルスクール」には不利。集団生活になじめないというのもあるようだ。

—5年前に唐津出身の条件を緩和し、今春からは女子のほか、大学院生、短大生や専門学校生にも募集対象を広げた。最寄り駅から寮までのバス代を補助するなど、あの手この手で学生確保に躍起だ。乗りかかった船。とにかく四方八方あ

たつて一人でも多く入ってもらいたい。寮費や食費が安く、親の経済的負担が軽い。唐津出身で塾OBでもある塾監がいるので、コロナ禍でも常に見守り、安心につながると思う。秋には手作りの曳山（ひきま）が出迎え、同郷人が集う「東京からつくんち」でにぎわう。いろんな出会いがあり、ここの付き合いは卒業後も続き、一生の財産になっている。久敬社は辰野金吾や大島小太郎などの偉人たちが育った場所でもある。新たな逸材が出てこないか、期待している。



ネパール・ヒマラヤの8000級級の高峰に初登頂したフランス人登山家の体験記「処女峰アンナフルナ」を手にする古賀栄一さん。大学受験で久敬社塾に宿泊し、緊張で眠れなかった朝に読んで励まされ、入塾を決めた思い出の一冊。唐津市京町の古賀家。

こが・えいいち 1949年、唐津市生まれ。唐津東高校から早稲田大政経学部へ入り、久敬社塾で過ごす。卒業後、唐津市京町にある家業の家具店を継いだ。唐津青年会議所理事長、京町商店街理事長、京町曳山取締など歴任。2020年6月から久敬社理事長。

聞き手・唐津支社長 辻村圭介

Depth
さが深掘り